

令和3年度進行管理・評価シート  
津山市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）

（最終変更認定日 令和3年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡津山城跡保存整備事業	3
2 苅田家住宅及び酒造場修理事業	4
3 宮川門跡地整備事業	5
4 京橋門跡地整備事業	6
5 鶴山館保存整備事業	7
6 作州民芸館保存活用事業	8
7 知新館保存整備事業	9
8 伝統的建造物群保存地区保存事業	10
9 防災設備整備事業(城東地区)	11
10 歴史的風致維持向上事業(城東地区周辺無電柱化)	12
11 歴史的風致維持向上事業(側溝整備)	13
12 城下町並保存対策事業(城西地区・武家地地区)	14
13 津山だんじりの保存・継承事業	15
14 史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業	16
15 衆楽園(旧津山藩別邸庭園)保存整備事業	17
16 まちなかサイン整備事業	18
17 安岡町押入線(1006号線)道路改良事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査・指定	20
2 文化財の保存修理・防災	21
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 国登録有形文化財・知新館の土蔵「家引き」で大規模改修	23
2 津山城石垣修理工事 現地見学会	23
3 「明石屋淵船着場の常夜灯」市文化財に指定	23
4 翁橋調査 大正期の姿現われる	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 津山の魅力向上、観光客増加及び経済的な波及効果	24

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25
-------------------------	----

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
計画実施のための組織体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	学識経験者、有識者、岡山県、岡山県教育委員会、市及び市教委で構成される「歴史的風致維持向上計画協議会」に諮り協議した。同協議会の開催は文化庁、国土交通省等の関係機関の指導・助言を得て行った。計画の追加、修正等の際には、同協議会の意見を求めながら行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
津山市歴史的風致維持向上計画の進行管理にあたり、津山市歴史的風致維持向上計画協議会を開催し、取り組み状況の報告及び事業の推進について協議を行った。 ・令和3年5月14日 令和2年度事業の進行管理・評価(オンライン開催) ・令和4年2月21日 令和3年度事業の進行管理・評価及び計画変更			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	庁内の横断的な計画策定チームによる検討による情報共有や計画に対する共通認識を図りながら進行管理を行っていく。市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護審議会、まちづくり協議会など関係機関と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>The diagram illustrates the organizational structure for the historical preservation plan. At the top is the '津山市市内推進体制' (City of Tsuyama Internal Promotion System), which includes a '【政策会議】' (Policy Meeting) with the Deputy Mayor, Education Director, and various departments, and a '【計画策定チーム】' (Plan Formulation Team) with the Future Vision Strategy Room, Tourism Revitalization Section, Urban Planning Section, Historical Town Planning Promotion Room, and Culture Section. To the left, the '文部科学省' (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology), '農林水産省' (Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries), and '国土交通省' (Ministry of Land, Infrastructure and Transport) are shown providing '協議' (consultation) and '助言支援' (advice and support). To the right, the '津山市歴史的風致維持向上計画協議会' (City of Tsuyama Historical Preservation and Improvement Plan Committee) is shown with '協議' (consultation) and '調整' (coordination). At the bottom, three committees are shown: '津山市都市計画審議会' (City of Tsuyama Urban Planning Review Committee), '津山市文化財保護委員会' (City of Tsuyama Cultural Heritage Protection Committee), and '津山市景観審議会' (City of Tsuyama Landscape Review Committee), with '協議' (consultation) and '助言' (advice) flowing between them and the central teams.</p>			
<p>A photograph showing a meeting of the City of Tsuyama Historical Preservation and Improvement Plan Committee. Several people are seated around a long table in a conference room, looking at documents and a presentation screen in the background.</p>			
津山市歴史的風致維持向上計画協議会(R3.5.14)の様子			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
重点区域における良好な景観を形成する施策 ①津山市都市計画マスタープランとの連携 ②津山市景観計画との連携 ③重要伝統的建造物群保存地区の保存修理・修景			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	津山城跡(鶴山公園)や衆楽園、城東地区、城西地区、田町など、津山市らしい良好な歴史的景観の保存と新たな都市景観の創出を図る。 歴史的建造物の周辺環境の保全を図るため、津山城周辺の高層建物の建設等による景観阻害に対し、景観計画に基づく指導助言を重点的に行う。 「城東伝統的建造物群保存地区」に加え、令和2年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された「城西伝統的建造物群保存地区保存地区」をはじめ歴史的町並みの保全に努め、引き続き良好な景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画法に基づく「津山市東一宮地区計画」及び「津山市景観計画」による良好な景観形成誘導を行った。 「津山市城東伝統的建造物群保存地区保存計画」を「同保存活用計画」に改め策定。同計画及び「城西伝統的建造物群保存地区保存地区保存活用計画」「津山城内町武家地保存活用計画」による歴史的な町並みの修理、修景事業の実施。 【定量的数値】※R4.1.31現在 地区計画届出件数25件(前年比12件減) 景観計画届出件数79件(前年比8件減)、うち景観形成重点地区11件(前年比2件増) 伝統的建造物の修理・修景件数 修理11件(前年比9件増)、修景3件(前年比1件増) 武家地の修理 1件 津山市景観賞の表彰 景観賞2件、奨励賞2件(応募数6件)			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

3. 景観形成重点地区・景観重要公共施設

- |          |  |
|----------|--|
| 一般地区     | 市全域 (景観形成重点地区以外の市全域)   |
| 景観形成重点地区 | 景観形成上、特に重要な区域<br>①城跡地区 ②城東地区 ③城西地区<br>④武家地地区 (④-1 椿高下地区、④-2 田町地区)<br>⑤衆楽園地区 ⑥津山駅北口広場地区               |
| 景観重要公共施設 | 景観形成上、特に重要である道路、河川<br>①鶴山通り ②双通り ③国道53号<br>④新錦橋押入線 ⑤津山城跡南道路<br>⑥衆楽園南道路 ⑦総社川崎線<br>⑧安岡町押入線<br>●吉井川 ●宮川 |



令和3年度津山市景観賞  
建築物部門  
「sense TSUYAMA  
(旧津山市立東幼稚園プロジェクト)」



令和3年度津山市景観賞  
景観活動部門  
「橋松小学校 地域を明るくしよう  
プロジェクト」



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
史跡津山城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成10年度～令和7年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 津山城跡においては、史跡津山城跡保存整備計画(第Ⅱ期)に基づき、津山城の本質的な価値である石垣及び虎口通路の保存修理を進め、保存を図るとともに、崩落を未然に防ぐための修理・失われた石垣の復元等についての調査・研究を進め、可能なものについては復元し、環境整備を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備計画に基づき、虎口通路整備及び石垣修理を中心に進めている。令和3年度は二の丸東側石垣解体修理工事(令和4年度までの継続事業)を実施。工事の状況を広く知ってもらうため、現地見学会の開催と、工事の様子を随時市のフェイスブック上で公開をおこなった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

二の丸東側石垣解体修理工事現地見学会

- 第1回 令和2年8月1日
- 第2回 令和3年3月21日
- 第3回 令和3年11月28日



二の丸東側石垣解体修理工事の状況



第1回現地見学会の様子



第2回現地見学会の様子



第3回現地見学会の様子

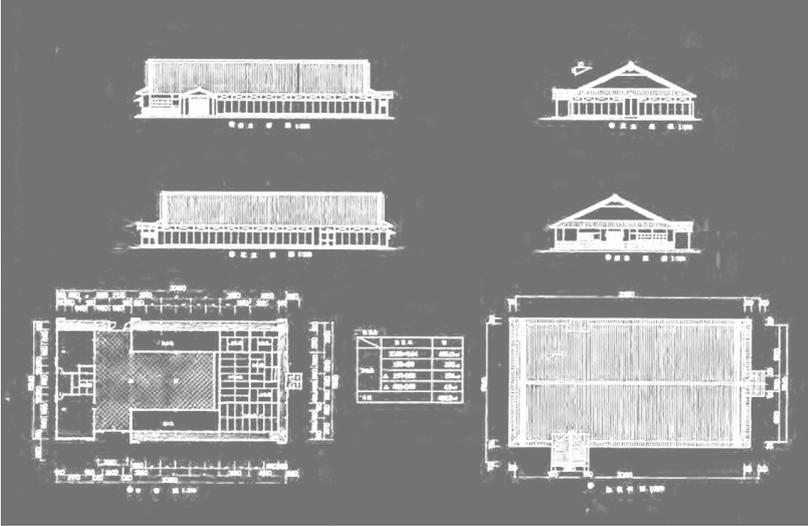
評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
苺田家住宅及び酒造場修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	保存活用計画は現在策定中であるが、平成10年に水害により浸水しており、床面の凸凹が著しく、早急な保存整備工が必要である。連続して残る苺田家町家群の本瓦の庇が構成する町並み景観は津山で唯一のものであり、地域活性化のために保存修理するとともに、将来世代へ継承し地域に賑わいを生む施設として整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「旧苺田家住宅(10棟)」が平成28年7月25日付で国の重要文化財に指定された。 平成29年度に津山市旧苺田家住宅保存修理活用検討委員会を立上げ、今後の修理に向けた検討に着手したが、平成30年度以降委員会を実施できておらず、早急な事業実施スケジュールを策定する必要がある。令和3年度は、今後の事業化に向け、文化庁と協議し、課題であった主任技術者を確保し、今後の保存修理に向けたスケジュール調整などを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	検討委員会の開催など早急な事業実施スケジュールを策定する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
苺田家住宅及び酒造場修理事業  【令和2年度実施状況】 ・旧苺田家住宅保存修理活用検討委員会未開催、自動火災報知設備を設置した。 【令和3年度実施状況】 ・修理事業に向けてのスケジュール調整、事前に行う耐震診断・調査工事等の計画等			
			
旧苺田家住宅 外観		旧苺田家住宅 自動火災報知設備設置状況	
			
旧苺田家住宅 修理工事に向けての事前調整			



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
京橋門跡地整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	京橋門跡地については、公園整備は平成29年度に終了したが、一部石垣を隠している建物が残っており、この部分の土地を購入し建物を撤去する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成29年度で公園整備工事を完了したが、石垣東面について既存建物が所在し景観を阻害しているため、公有地化に動いているが土地の取得に難航し、進んでいない。今後も引き続き公有化、整備が必要。 歴史的風致形成建造物指定(令和4年1月1日付)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		現存する東面の石垣が見えるよう、整備するため土地取得が課題であり、また津山城の大手の入口としてわかりやすい表示を行うことも課題となっている。	
状況を示す写真や資料等			
			
整備された京橋門跡			
			
京橋門跡整備範囲(朱線は当初案)			

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
鶴山館保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業(令和4年度～令和6年度)		
計画に記載している内容	津山城跡の三の丸に移築されている、旧藩校の建物である鶴山館を保存活用して、津山城跡のガイダンス施設に整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	旧津山藩に由来する数少ない貴重な建造物であり、建物自体の保存・継承が第一義的な目的となる。ただし、活用の方向性について全庁的に合意を得たうえで具体的な保存計画を立案することが必須条件であり、関係部局の合意形成が課題かつ早急に求められる。		
状況を示す写真や資料等			
 <p style="text-align: center;">鶴山館全景</p>			
 <p style="text-align: center;">鶴山館現状図</p>			

評価軸③-6  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
作州民芸館保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 地方創生交付金(令和2年度～令和3年度)

計画に記載している内容  
登録有形文化財である作州民芸館は、老朽化による雨漏りや耐震、防火に構造上問題があることから修理を行うもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
令和2年度:冷暖房更新・カフェスペースに係る実施設計、トイレ改修工事、自動火災報知器整備、多目的広場柵整備の実施  
令和3年度:冷暖房更新・カフェスペースに係る整備工事

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年12月に城西地区が重伝建地区に選定され、作州民芸館が歴史的建造物(特定物件)となったことから歴史的風致形成建造物としては指定できないため、景観重要建造物としての指定について検討する。

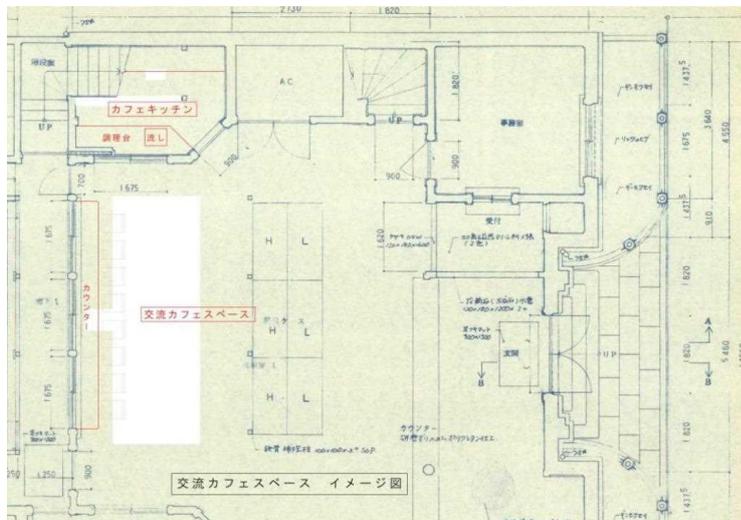
状況を示す写真や資料等



トイレの改修(令和2年度)



自動火災報知器の設置状況(令和2)



カフェスペースイメージ図



カフェキッチンの整備(令和3年度)



冷暖房更新(令和2、3年度)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
知新館保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

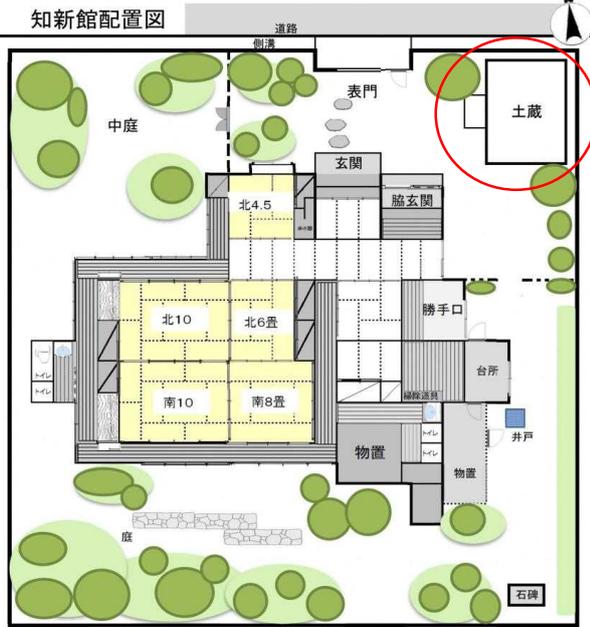
事業期間 令和3年度  
 支援事業名 市単独事業 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和3年度)

計画に記載している内容  
 登録有形文化財である知新館は、土蔵が老朽化により倒壊の危険性が高まっていることから、歴史的風致形成建造物として修理を行うもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 令和3年度に土蔵部分の修理工事に着手。年度末完成予定。  
 歴史的風致形成建造物指定(令和4年1月1日付)

進捗状況 ※計画年次との対応  
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
 ■計画どおり進捗している  
 □計画どおり進捗していない  
 修理工事は年度末に完成予定。修理後の利活用について、民間提案制度などにエントリーしているものの、現時点で方針の決定に至っていないことからすみやかな検討を要する。

状況を示す写真や資料等



修理建物(土蔵)



修理実施状況(南西から)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
伝統的建造物群保存地区保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和10年度

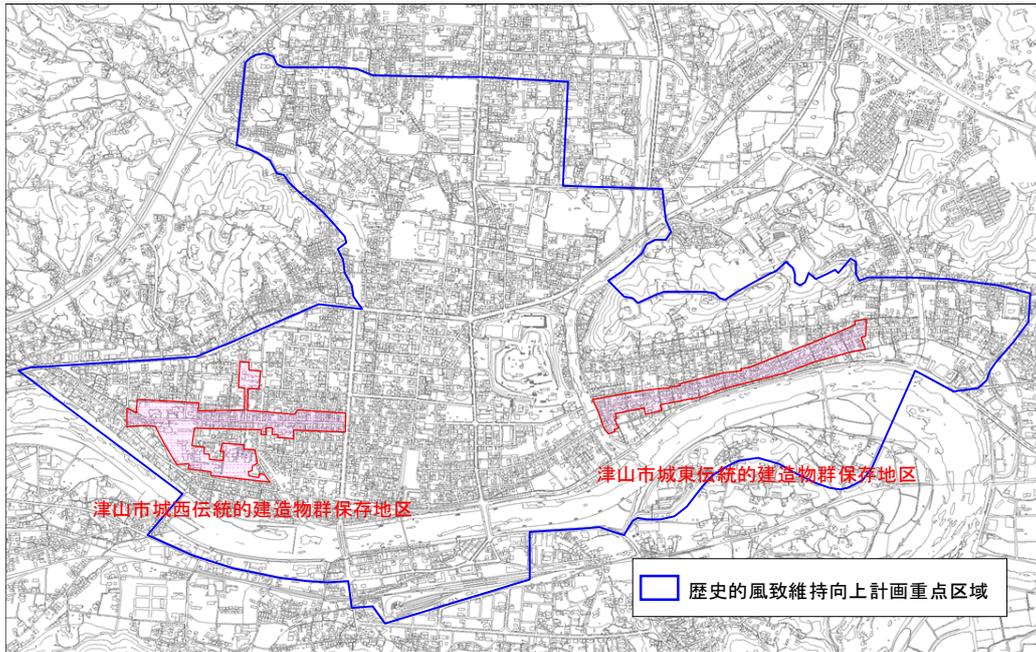
支援事業名 まちづくり交付金 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成21年度～平成25年度)  
 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(平成26年度～) 市単独事業

計画に記載している内容 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された城東地区と城西地区の歴史的風致を後世に継承していくため、伝統的建造物の修理や新しい建造物の修景を進め、町並み景観の維持向上に取り組むことで、地域の個性を活かした持続可能なまちづくりを目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 歴史的な町並みの修理、修景事業の実施  
 令和3年度 伝統的建造物の修理・修景件数 修理11件、修景3件(城東:修理7件、修景1件、城西:修理4件、修景2件)  
 平成26年度から累計(修理47件、修景10件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 修理・修景の補助待ちの状態が続き、十分な予算確保が課題。出雲往来沿いから見える修理・修景を優先することで事業効果を高めていく。

状況を示す写真や資料等



修理前

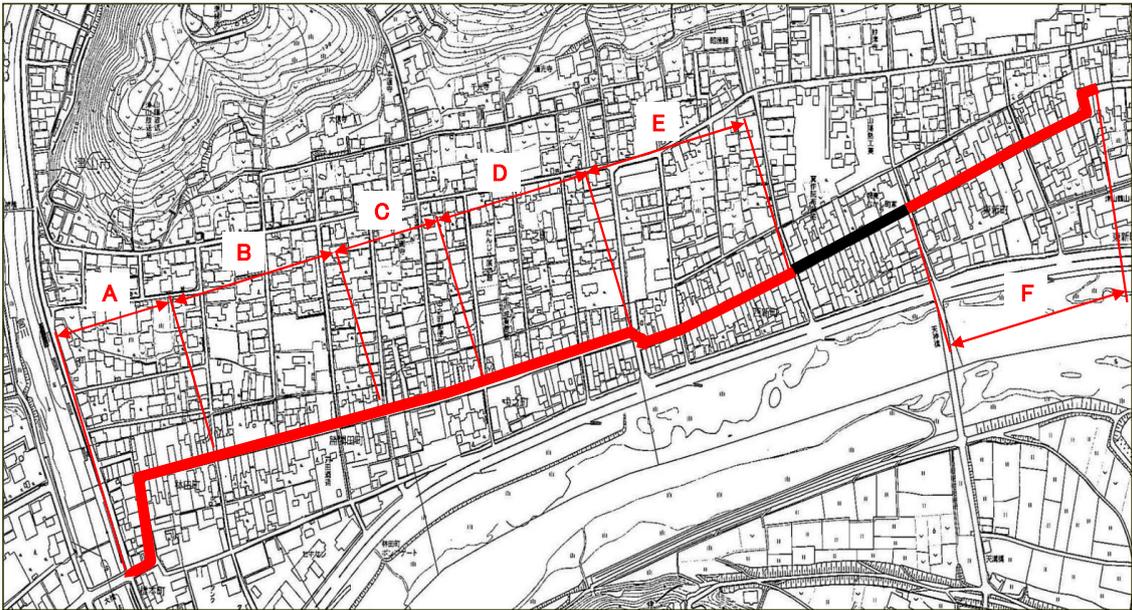


修理後

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
防災設備整備事業(城東地区)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和2年度、令和4年度) 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(令和3年度、令和4年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	津山市城東伝統的建造物群保存地区では、平成30年度に防災計画を策定し、その防災計画に基づき、消防設備等の設置を推進するなど、防災力向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度:城東地区防災設備整備計画の策定(橋本町～東新町) 令和2年度:城東地区防災設備整備計画の策定(上之町) 令和3年度～:防災設備整備(R3橋本町、R4林田町・勝間田町、R5中之町、R6西新町、R7東新町-R4以降予定) ※令和4年度予定:持ち運び式簡易水道消火装置の整備(伝建地区内5台)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防災対策の具体的な取組みの実施については、限られた財源を有効に活用する観点から優先順位を設定し計画的に実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
<h3>連動式火災報知器設置イメージ</h3> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;凡例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="color: blue;">■</span> 中継器</li> <li><span style="color: yellow;">●</span> 連動式火災報知器(親機)</li> <li><span style="color: green;">●</span> 連動式火災報知器(子機)</li> <li><span style="color: red;">●</span> 連動式火災報知器(子機-発報中)</li> <li><span style="color: orange;">▲</span> 連動式火災報知器(子機-自己負)</li> </ul> </div>			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <h4>簡易水道消火装置 (R4年度設置予定)</h4> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>外観</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>内部</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>蛇口口金</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 給水コネクタをサイドポケットより取り出す</li> <li>2 水道栓に接続/蛇口を全開</li> <li>3 放水ノズルを取り出し 火災現場に急行</li> <li>4 コックを開き放水</li> </ol> </div>	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上事業(城東地区周辺無電柱化)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成21年度) 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和元年 令和6年度～令和7年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	城東地区の旧出雲往来沿線は、城下町津山の面影を残す町家の保存度、連担性高い地区であり、歴史景観地区にふさわしい道路空間の整備を行うことにより、町並み保存の推進と観光客の増加による地域の活性化を図ることができる。 城東地区では、洋学資料館前の約130m区間の無電柱化(電線類地中化方式)を実施済である。残りの区間についても伝建地区の整備にふさわしい工法を検討したうえで実施するもの。 まずは全体調査・事業計画を策定し、残り1,050mを年次的に順次整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に事業中の区間は無く、今後の着手見通しも立っていないことから、取組は行っていない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地下埋設物が輻射しており、電線類の埋設スペースを確保することが難しい区間が多く施工性や経済性に課題がある。また、道路幅員が狭小な割に自動車等の交通量が比較的多く、施工時の長期的な通行規制による地元住民等への負担が大きい。		
状況を示す写真や資料等			
			
無電柱化実施検討エリア図		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 無電柱化検討エリア	

評価軸③-11  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
歴史的風致維持向上事業(側溝整備)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和3年度)

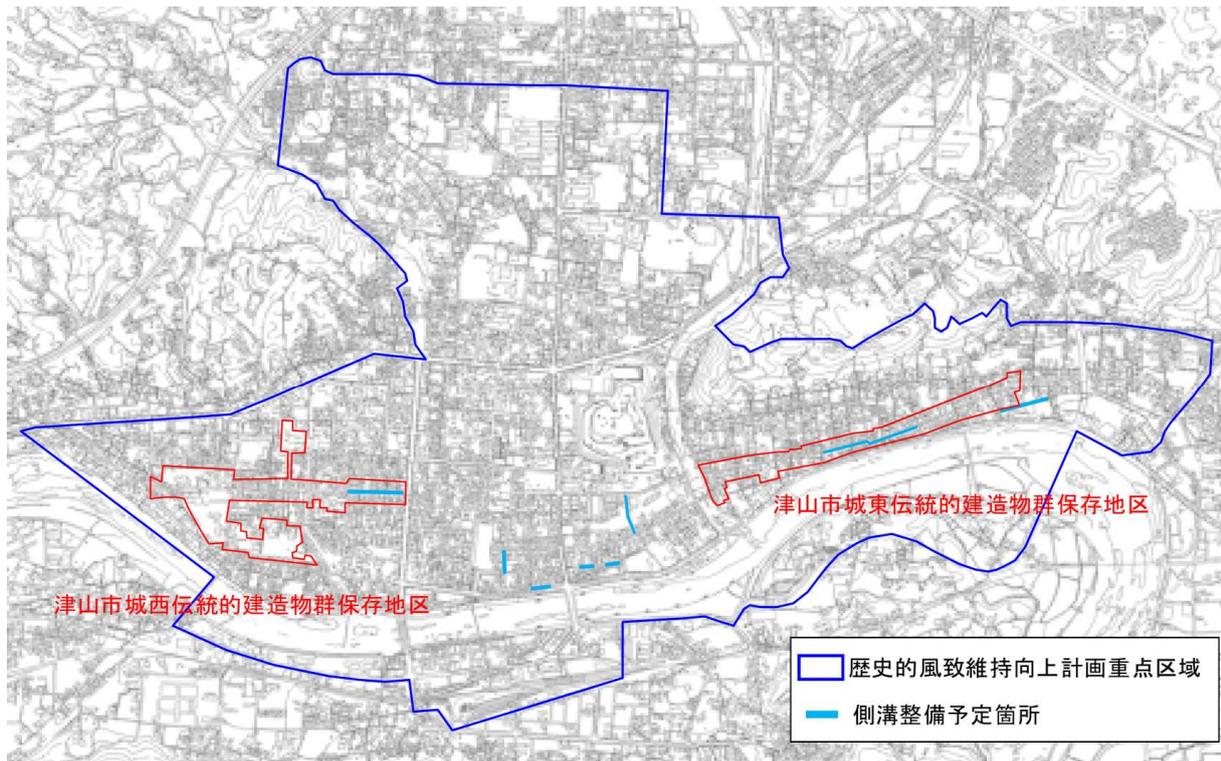
計画に記載している内容  
 城東、城下、城西地区は城下町津山の面影を残す町家の保存度が高い地区であり、歴史景観地区にふさわしい側溝整備を行うことにより、町並み保存の推進と道路の景観及び安全性の向上を図り、観光客による地域の活性化を図ることができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的町並み景観の統一と良好な市街地環境の整備を図るため、令和3年度は、東新町の178m区間で下水道工事と合わせて側溝整備事業を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和4年度以降に実施を予定している箇所内、城東・城西重伝建地区内の側溝については、沿道家屋の修理・修景事業や無電柱化等の事業との調整が必要となっており、工法や実施時期の調整が必要である。

状況を示す写真や資料等



着手前



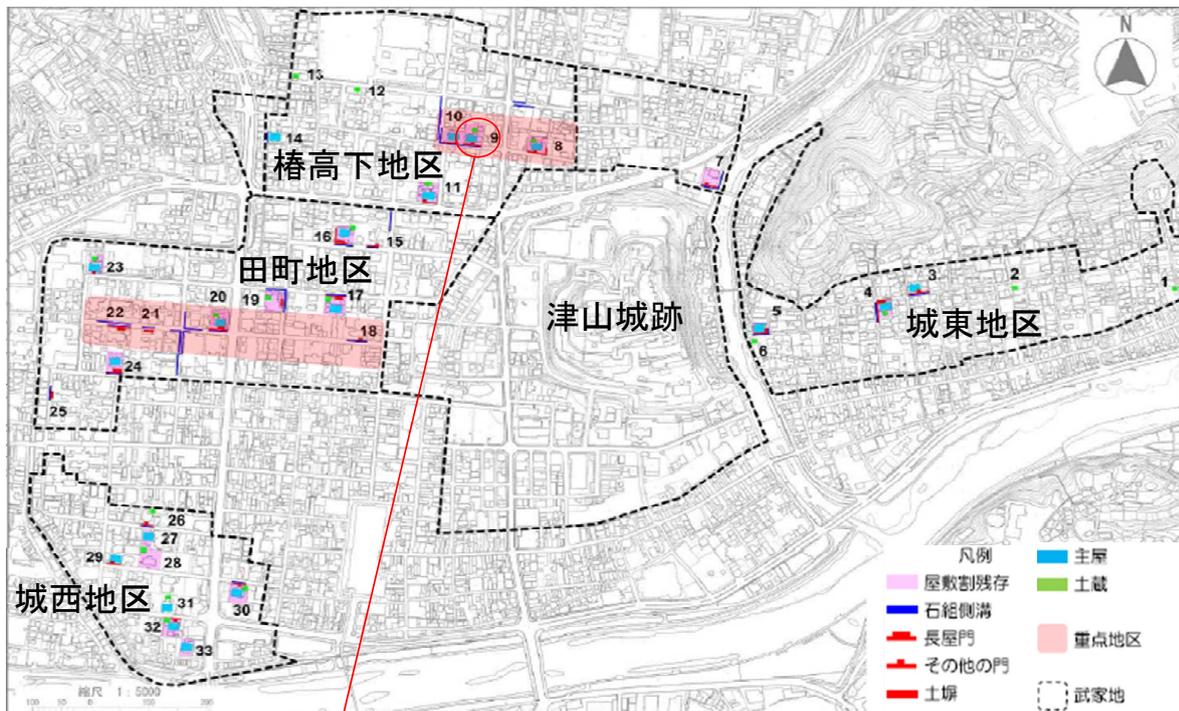
施工中

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
城下町町並保存対策事業(城西地区・武家地地区)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成27年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成27年度～令和7年度)市単独事業		
計画に記載している内容	城西地区には歴史的建造物が多く残っており、津山市町並み保存助成制度を活用して保存修理することにより、歴史的資産の継承と観光資源として活用を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「武家地保存活用計画」及び「景観計画」による歴史的な武家地の町並みの修理、修景事業の実施。 令和3年武家地の修理・修景件数 修理1件、修景0件 平成年28年度から累計(修理3件、修景3)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	老朽化が進んだ武家屋敷が多く、取り壊しも進んでいることから保存対策を早急を実施する必要がある。武家地だけでなく伝建地区周辺部など保存エリアの拡大を検討する。		

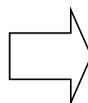
状況を示す写真や資料等



椿高下地内屋



屋敷主屋【修理前】



【修理後】

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
津山だんじりの保存・継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成10年度～令和7年度		
支援事業名	文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業、県費補助事業 市単独事業		
計画に記載している内容	津山の固有の歴史や伝統を反映した津山だんじりそのものの整備を行い、歴史的風致を維持向上する。だんじり等の伝統文化の適切な維持管理を行い、だんじりの保存・継承と、歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、個々のだんじりについての対応は特に行っていないが、文化財だんじりの保管庫の老朽化に伴う移転・再整備について、地元からの要望に伴って対応を検討している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
史跡津山城跡「鶴山公園」景観整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成22年度～令和元年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	「日本の歴史公園100選」「美しい日本の歴史風土準100選」にも選ばれた鶴山公園(津山城跡)の桜の保護・補植により、重点区域の核となる津山城跡の景観向上が図られることで、津山まつりにおけるだんじりルート of 歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
桜の植樹、斜面の自然樹木の伐採・法面整備 城跡の景観整備のため城内の樹木伐採を行うと共に、桜の老朽対策として樹勢回復と腐朽の進んだ老木の伐採と病気に罹った部位の除去また補植を行い、樹木景観の整備を行なうもの。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>                     R3サクラ植樹 N=2本                      R3樹木伐採・剪定 A=1,000m<sup>2</sup> 伐採 N=1本 剪定 N=28本                      R3樹勢回復 N=3本                 </p> <p>                     &lt; 凡例 &gt;                      伐採範囲                      サクラ植樹                      樹勢回復                 </p>			
植樹		伐採	
		樹勢回復	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
衆楽園(旧津山藩別邸庭園)保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成21年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「曲水の宴・俳句会」の舞台でもある名勝「旧津山藩別邸庭園(衆楽園)」(明暦3年(1657)、津山藩2代藩主森長継が京都の仙洞御所を模して造らせた大名庭園)について、庭園植栽の保存整備などの適切な維持管理により、城下町と往来の歴史的風致を維持向上するとともに、庭園の管理技術の継承につなげる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
庭園植栽の保存整備、園内建造物(迎賓館、余芳閣、風月軒、清涼軒)の改修、樹木保存管理計画作成			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



こも巻き作業の様子



樹木剪定作業の様子



斜樋・底樋



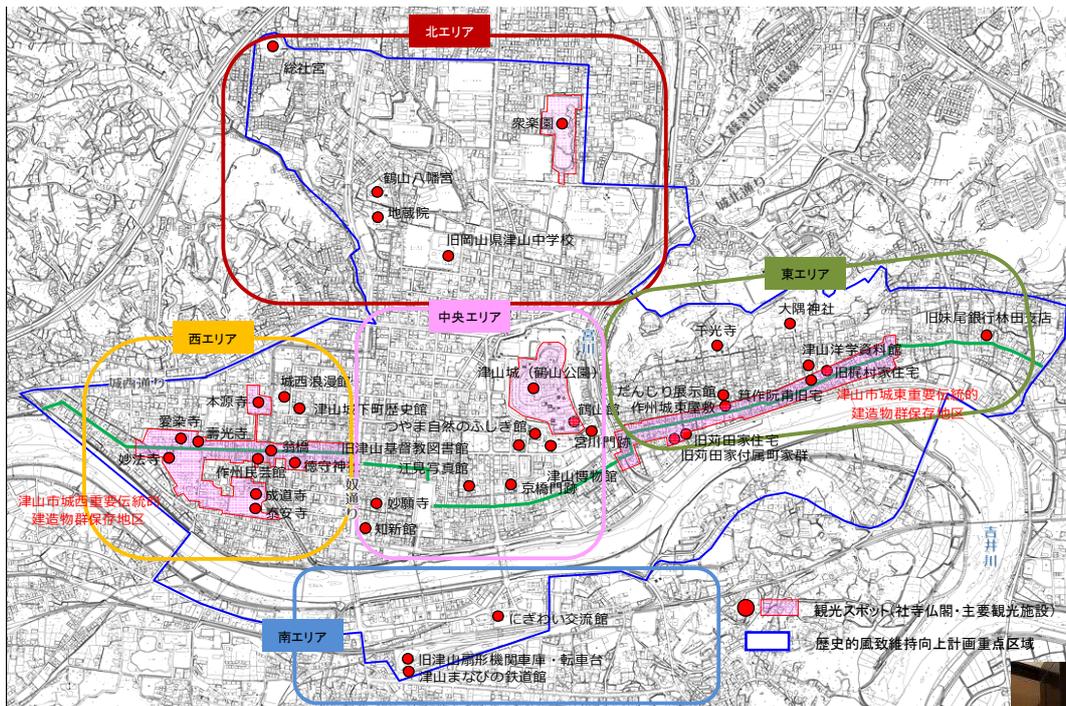
底樋管改修

評価軸③-16

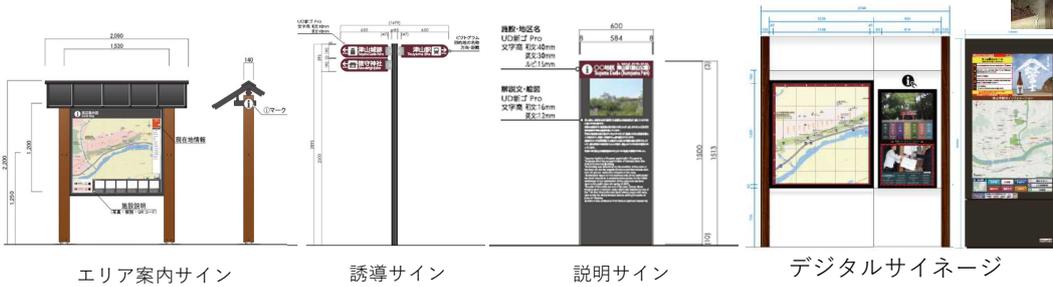
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度
			現在の状況
まちなかサイン整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(令和2年度～令和3年度) 市単独事業		
計画に記載している内容	市内に設置されている観光案内標識の統一化により、城東、城下、城西地区を訪れる観光客の利便性と回遊性の向上を図るとともに、城下町にふさわしい落ち着いた景観形成の誘導を促すことで歴史的風致全体の維持向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度 デジタルサイネージを3基設置(津山観光センター、城東観光駐車場、作州民芸館)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備ガイドライン(整備方針)を策定し、道路用標識と歩行者用標識のあり方を検討する。城下町にふさわしく落ち着いた中にも、標識としてのわかりやすさを備えたデザインへの転換を図る。多言語化に対応したデジタルサイネージの導入を図る。(令和3年度～)		

状況を示す写真や資料等



観光センター  
デジタル  
サイネージ



エリア案内サイン

誘導サイン

説明サイン

デジタルサイネージ

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
安岡町押入線(1006号線)道路改良事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和7年度

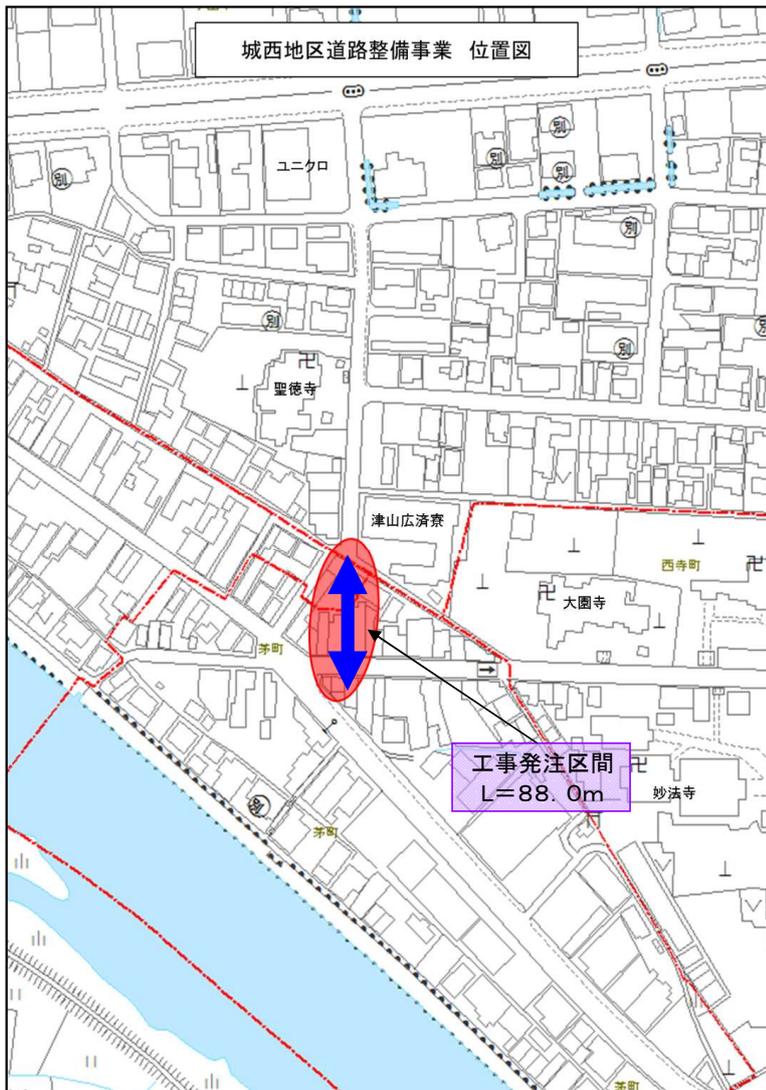
支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成25年度～令和2年度、令和6年度～7年度)市単独事業

計画に記載している内容  
 住宅が密集し、線形不良や幅員が不一致の生活道路である安岡町押入線(1006号線)道路整備において、歴史的な町並みが残る城西地域の景観形成に配慮した道路及び小公園を整備するもの。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
 平成28年度～平成29年度:城西道路の用地測量、物件調査の実施  
 平成29年度～平成30年度:用地買収・補償10件  
 令和元年度:用地買収・補償5件  
 令和2年度:改良工事発注  
 令和3年度:上記工事実施(施工延長88.0m、計画幅員24.5m)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路整備は令和3年度の工事で概ね完了。残工事は令和5年度以降に実施予定。 小公園は、地元町内会と整備内容について協議を進め令和5年度以降の着手を目指す。

状況を示す写真や資料等



工事完成(北から)



工事完成(南から)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の調査・指定		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 未指定の文化財等の修理、整備に関しても事前に十分な調査等を実施し、稚拙な修理、整備によってその価値が損なわれないよう計画段階で十分な配慮を行うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の登録有形文化財 城東むかし町屋(旧梶村家住宅)主屋 蟻害・腐朽調査  
 中宮古墳群(市指定史跡佐良山・剣戸塚古墳群と中宮1号墳隣接)墳丘測量調査の実施  
 市指定文化財の指定:明石屋淵船着場の常夜灯(令和3年10月25日付け)  
 市指定文化財の昇格:朱漆塗本小札啄木糸威胴丸具足(津山藩松平家伝来)(個人蔵 津山郷土博物館寄託)  
 →市指定重要文化財(工芸品)から岡山県指定重要文化財(工芸品)に昇格(2月18日決定)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



新たに指定した



県指定重要文化財に昇格した

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存修理・防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の価値を損なわないために、関係機関と事前に十分な協議、検討を行うものとする。また、県、市指定の文化財等についても、その根拠条例等に基づき文化財としての本質的な価値を毀損しないよう、適正な措置を行う。屋内消火栓や放水銃等の消火設備や避雷針設備等の防災設備の設置を推進し、火災被害の軽減を図る。さらに広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民、消防署が一体となった防災訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定重要文化財 中山神社惣神殿保存修理事業  
 国指定高野神社美術工芸品保存修理(防災設備)事業  
 国指定重要有形民俗文化財 田熊の舞台民俗文化財修理・防災(防災設備)事業

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財の保存修理等

- ・市指定重要文化財 中山神社惣神殿保存修理事業
- ・国指定高野神社美術工芸品保存修理(防災設備)事業
- ・国指定重要有形民俗文化財 田熊の舞台民俗文化財修理・防災(防災設備)事業

文化財防火デー関連事業

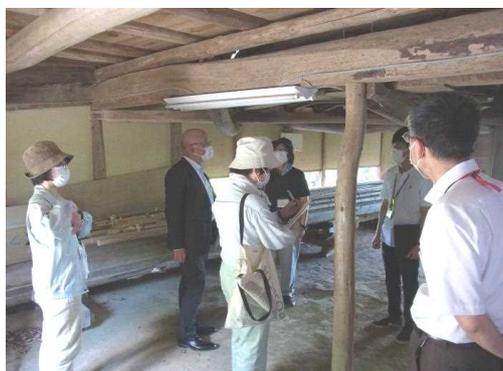
- ・圏域消防組合による文化財防火査察  
 令和4年1月24日:箕作阮甫旧宅、令和4年1月25日:高野神社、清瀧寺



市指定重要文化財中山神社惣神殿の現況



文化財立入り検査の状況(高野神社)



現地指導(田熊の舞台)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の保存及び活用の普及・啓発		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の存在と価値について広く理解を得るため、文化財の公開に努め、誰もが文化財を気軽に見学し親しむことのできる機会を設定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

津山郷土博物館常設展示、津山弥生の里文化財センター企画展「発掘調査からわかる美作国府跡」の開催、第39回津山市文化財調査報告会の開催。また城西地区重伝建選定記念シンポジウムを実施し、専門家による津山の重伝建の評価や他都市における事例発表、地元住民による今後のまちづくりにかける思いの発表などを行いました(参加者80名)。歴史まちづくり推進室のホームページのリニューアル及び積極的な情報発信(SNSやyoutube)を行いました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

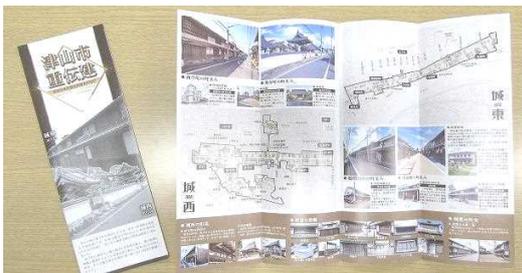
状況を示す写真や資料等



津山弥生の里文化財センター企画展「発掘調査からわかる美作国府跡」の開催



津山市城西地区重伝建選定記念シンポジウム「城東・城西の町並みを未来へ」開催



津山市重伝建リーフレットの作成

歴史まちづくり推進室  
ホームページリニューアル  
ホームページ⇒





評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度

令和3年度

項目

津山の魅力向上、観光客増加及び経済的な波及効果

計画に記載している内容  
史跡津山城跡や城東地区の重要伝統的建造物群保存地区を中心とした歴史的景観や町並み、そこで行われている人々の活動を活かしたまちづくりを行い、歴史的風致を維持向上していくことは、津山市民の多くが残したいと望む津山城跡を中心とした歴史的景観の保全などにつながるるとともに津山の魅力を高め、観光客増加やそれに伴う経済的な波及効果が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

城東、城西、城北、城南地区の主要施設及び主要イベントの観光客数301,977人。昨年比でほぼ半減。

進捗状況 ※計画年次との対応

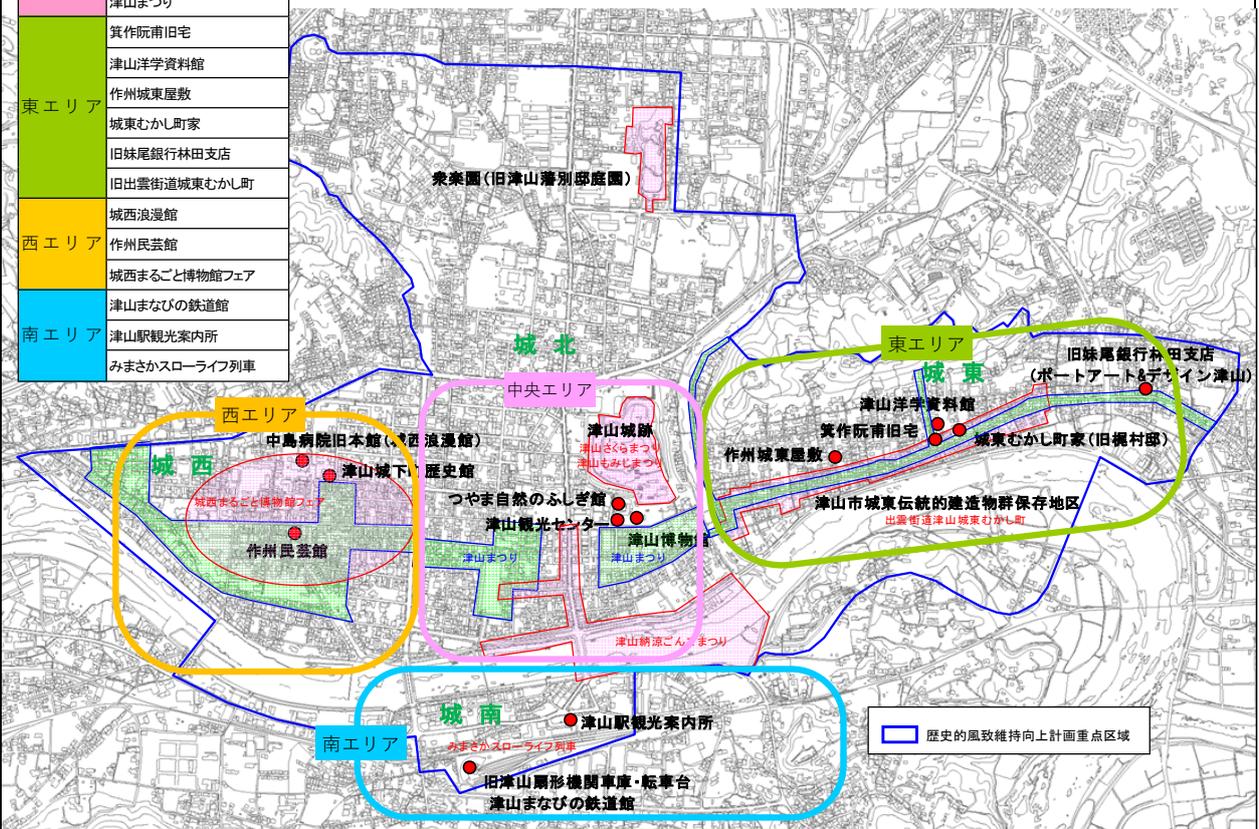
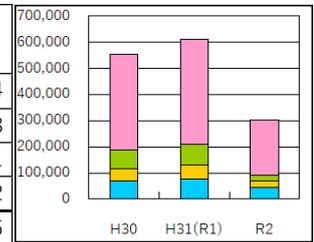
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり  
■計画の進捗に影響なし

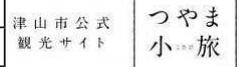
新型コロナウイルスの影響が大きく、主要なイベントの中止が大きな減少要因となっているが、同感染症の収束後には、観光客数は回復すると推測される。ホームページのアクセス数がコロナ禍以前は増加基調だったことから、観光客の潜在数は多いと期待できる。

状況を示す写真や資料等

地区	施設・イベント名	観光客数				増減(B-A)
		H30年度(A)	H31(R1)年度	R2年度(B)		
中央エリア	津山城					
	津山観光センター					
	津山郷土博物館					
	津山自然のふしぎ館					
	津山納涼ごんごまつり					
	津山さくらまつり					
	津山まつり					
東エリア	箕作阮甫旧宅					
	津山洋学資料館					
	作州城東屋敷					
	城東むかし町家					
	旧妹尾銀行林田支店					
西エリア	城西浪漫館					
	作州民芸館					
	城西まるごと博物館フェア					
南エリア	津山まなびの鉄道館					
	津山駅観光案内所					
全体		554,132	611,611	301,977	-252,155	



H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
1,045,286	1,097,102	1,736,258	1,423,950



評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開 令和4年2月21日金曜日 午後1時30分～3時	
(コメントの概要)	
<p>(1)京橋門跡地整備事業(進捗評価シート③-4) 事業が進んでいない状況について教えていただきたい。</p> <p>(2)鶴山館保存整備事業(進捗評価シート③-5) なぜ計画通り進まないのか、どういう保存をしていくのか、どういう思いで保存していくのか？</p> <p>(3)歴史的風致維持向上事業(城東地区周辺無電柱化)(進捗評価シート③-10) 無電柱化については、東新町の区間を整備してからしばらく経つが、それに続く西新町、そして勝間田町あたりから整備を進めてほしいと思っているが、その見通しは？</p> <p>(4)歴史的風致維持向上事業(側溝整備)(進捗評価シート③-11) 城西地区にある整備予定箇所について詳しく説明をお願いいたします。この区間だけしか計画にないのか？今後ほかの区域もするのか？ 城西まちづくり協議会で話題になったのだが、特に西今町の道路はいわゆる「カマボコ道路」で、観光客が歩いたら側溝に落ちやすく、危ないのではないかと、という意見が出た。</p> <p>(5)まちなかサイン整備(③-16) 10年ほど前に各町内に町名の由来を記した看板を設置してもらったが、かすれて見えなくなっているものの中には見受けられる。町名の由来は観光客にとっても興味深いものなので、伝える取り組みを行ってほしい。新たな市指定文化財になった明石屋淵の船着き場にも同様に看板整備も検討していただきたい。 作州民芸館前に設置している看板の情報が古かったり、誤りがあったりするので、そのあたりのチェックをお願いします。またその看板は南に向いて見るもので、地図の上が北になっていることから、自分がどちらを向いているかよくわからない。南が上の地図の方がわかりやすいのでは？ 今度設置されるデジタルサイネージは情報の更新ができるのか？</p> <p>(6)津山の魅力向上、観光客増加及び経済的な波及効果(進捗評価シート⑥-1) コロナ禍で観光客が落ち込んでいるが、遠方からだけでなく、市内の人にも来ていただけることを考えてほしい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>(1)京橋門跡地東側の道縁のガレージの撤去ができていない状況。石垣部分が外から見えない状態なので、地権者と粘り強く交渉し、公有化していきたい。</p> <p>(2)本施設は史跡津山城跡保存整備計画の中で「ガイダンス施設」にすると位置づけているが、現状では観光協会の詰め所(公園管理のため)や展示スペースとして活用されている。今後は、ガイダンス施設のみならず、宿泊施設などとしての活用に向けた庁内協議を行っていく。明治時代にこの場所に移築されたものだが、津山藩が建てた唯一の建物ということで、R4年度には実測調査を行い、文化財的な価値付けを行った上で今後の修理や活用の方針を立てていきたいと考えている。</p> <p>(3)地元から優先順位をうかがったり、技術的な調査を行ったりしています。無電柱化のためには長期にわたる通行規制を行わないといけな問題もあり、地元の意向をお聞きしながら進めていきたいと考えている。</p> <p>(4)資料に示している区間は整備計画ができてはいるものだが、その詳細な計画内容は未定となっており、それ以外の場所については今後考えていくこととなる。側溝整備の作業工程を考えると、側溝だけでなく、無電柱化もあわせて考えていかないといけない。今後、あり方やその計画について整理していきたいと考えている。</p> <p>(5)町名看板について、平成22年度に立てたと記憶している。かすれなど看板の状況については現状を確認してみる。また常夜灯については、市文化財センターが市指定文化財共通の看板を作ることとなっている。 作州民芸館の看板については、デジタルサイネージの設置に合わせ、撤去する予定。看板とは別の箇所にデジタルサイネージを立てる。新たに立てるものは半分がデジタルサイネージで、もう半分が看板となっている。城東観光駐車場にも設置するが、デジタルサイネージ部分はデータ更新できるが、もう半分の看板部分はすぐには更新できないものとなっているが、その都度チェックして張り替えていきたい。また、東を向いて見るよう設置するが、これまでと同様、地図は北が上になっているが、デジタルサイネージには城西地区に限った地図もあり、現在地も表記されているなど、ある程度わかりやすくなっていると思う。</p> <p>(6) (ご意見として扱う)</p>	